

# 前期基本計画 総括評価シート

## 1 基本情報

施策名	2 - 2 みどりが価値を生み出すまちづくり				戦略名	みどり活用プロジェクト			
担当	主担当部	市民環境経済部	主担当課	環境課					
	部長名	岡田 光一	関係課	教育支援課					

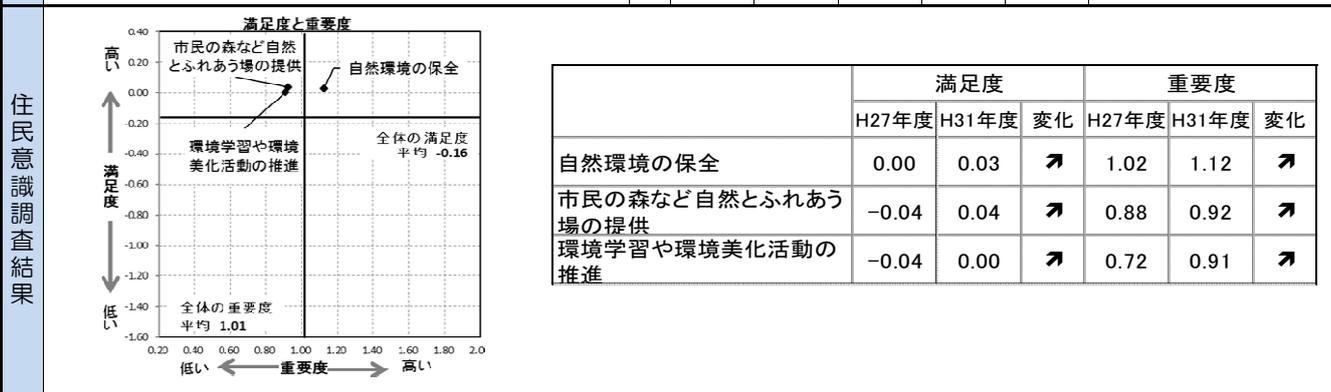
## 2 取組目標

●豊かなみどりが生み出すきれいな空気や静けさといった白井市の良質な環境を、市民とともに守り、育むことで、愛着と誇りを持てるまちづくりを進めます。

## 3 前期基本計画の成果

取組成果	<b>取組1 地域での環境保全や創出の取り組みとしてのグラウンドワークの推進</b> ・神々廻市民の森について、平成28年度から市民団体と協働で入口付近の花壇づくりを行っているほか、平成29年度から白井高校美術部生徒の協力で看板改修を行い、また、平成31年度には企業の協力でゴルフのロストボールを使用して花壇の中になし坊を描くなど、地域や市民団体などと協働により、市民が親しみやすい森の整備を進めることができた。 ・平成29年度から、千葉大学大学院と共催により、神々廻市民の森を舞台に小学生を対象としたイベントを継続して実施することで、学期から森と親しみ、環境保全活動の大切さを学習することができた。
	<b>取組2 白井の自然環境の豊かさを知り育むための環境学習の推進</b> ・市民団体と協働により、計画期間中に継続して環境フォーラムや環境学習を開催したほか、平成30年度に市内小学校2校、平成31年度に市内小学校3校において教育計画に基づいた授業を実施するなど、各世代に白井の自然の豊かさを学ぶ場を提供し、環境意識が高まった。 ・平成30年度から幼稚園と協働でげやき台多目的広場にピオトープを造成し、稲作体験や季節ごとの生き物観察会などを実施したことにより、幼少期から白井の自然の豊かさを学ぶ環境を作ることができた。 ・平成28年度から継続して市内の水生生物を常設展示することで、市民が生き物に触れる機会を提供できた。

成果指標	施策指標名	単位	基準値	実績値		目標値	達成度	達成状況	
				H28年度	H31年度			R2年度	達成率
	白井のみどりの環境を自慢に思う市民の割合	%	-	72.1	82.2	72.1	◎	◎ 目標達成	100%以上
	地域の環境保全活動に参加している市民の割合	%	-	33.8	17.8	44.0	×	○ 目標に近づいている	75%以上
								△ 基準値を現状維持	50%以上
								× 基準値より悪化	50%未満



## 4 前期基本計画の総括(主担当部長による評価)

評価	B	A 目標を上回る成果があった	C 目標をやや下回る成果となった
		B 目標どおりの成果があった	D 十分な成果があらなかった
評価理由	成果指標の一部については、現時点では成果が数値に表れていないものもある。 一方、数値化できない成果として、各取組において、グラウンドワークでは、神々廻市民森で市民団体と協働による活動を展開し、環境保全を図ることができ、環境学習では、市民団体と協働で開催したほか、課題であった中学校での環境学習が教育課程の関係により実施できなかったが、幼児期については幼稚園と協働により、小学校での環境学習については市内3校で実施し、子どもたちの環境意識を高めることができた。 これらのことから、取組目標に向けて着実に進んだことに加え、住民意識調査の結果において向上が見られていることを踏まえ、総合的にみて本評価とした。		

## 5 後期基本計画への反映

より多くの市民等が活動に参加できるように努めながら、グラウンドワークについては、新たな人材を取り入れつつ活動の輪を広げ、環境学習については、引き続き学校や市民団体などと連携し、学習機会の充実を図る。

## 6 総合計画審議会の意見

「施策2-1 「魅せる農」のまちづくり」に記載。